

『看護系大学の教育等に関する実態調査』
2016年度状況調査

表1-6. 最終修得学位名称別の教員数

[N=250]

学位名称	国立大学 (回答校数=43)					公立大学 (回答校数=47)				
	学士	修士	博士	学位なし	合計	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	54	344	220		618	126	687	292		1,105
保健学	2	100	162		264	0	111	107		218
医学	1	9	165		175	4	6	77		87
教育学	1	14	13		28	2	49	11		62
学術	0	5	21		26	2	19	15		36
その他	4	59	42		105	12	129	61		202
合計	62	531	623	10	1,226	146	1,001	563	25	1,735

学位名称	私立大学 (回答校数=160)					全体 (回答校数=250)				
	学士	修士	博士	学位なし	合計	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	252	1,720	580		2,552	432	2,751	1,092		4,275
保健学	6	277	200		483	8	488	469		965
医学	4	23	223		250	9	38	465		512
教育学	20	158	27		205	23	221	51		295
学術	5	130	76		211	7	154	112		273
その他	102	647	199		948	118	835	302		1,255
合計	389	2,955	1,305	162	4,811	597	4,487	2,491	197	7,772

教員の最終修得学位は、博士が2,491名(32.1%)、修士が4,487名(57.7%)、学士597名(7.7%)、学位なし197名(2.5%)で昨年度とほぼ同じであった。設置主体別で見ると、国立大学では博士が50.8%、修士が43.3%と、修士以上の学位修得者が全体の9割以上を占めた。また、公立大学では、博士が32.4%、修士が57.7%、私立大学では、博士が27.1%、修士が61.4%であった。学位の名称別で見ると、看護学が最も多く、それぞれに占める割合は、学士(72.4%)、修士(61.3%)、博士(43.8%)であった。博士の学位は、看護学(43.3%)に次いで保健学(18.8%)、医学(18.7%)の順であり、昨年度に保健学博士と医学博士の割合が逆転したままであった。いずれの学位も持たない教員は、国立大学で10名(0.8%)、公立大学で25名(1.4%)、私立大学で162名(3.4%)であり、私立大学で多いものの、全体として減少傾向が続いている。

兵庫大学大学院看護学研究科看護学専攻
博士前期課程・博士後期課程 (仮称・設置構想中)

採用意向についてのアンケート調査
(人材需要ニーズ調査)
報告書

平成31年1月10日

1. 採用意向についてのアンケート調査(人材需要ニーズ調査)概要

調査の目的	兵庫大学大学院が平成32年4月に設置を予定する看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程(仮称)の修了予定者について、就職における社会的なニーズを、医療機関、高齢者福祉施設、看護系大学へのアンケートを用いて計測することを目的とする。
調査期間	平成30年10月～平成30年12月
調査方法	調査対象の看護管理者、看護部長、看護系学部学科長宛に、「看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程(仮称・設置構想中)」の修了予定者に対する採用意向等を尋ねるアンケート用紙を郵送することにより実施した。
調査対象 (依頼先)	兵庫大学大学院看護学研究科(博士前期課程・博士後期課程)(仮称・設置構想中)の修了予定者の就職先として想定している、兵庫県の医療機関、介護老人保健施設、訪問看護ステーション等及び近畿地区の看護系大学から、合計289事業所を選定し調査対象とした。 (アンケート調査依頼先289事業所の内訳) ・病院 136箇所 ・介護老人保健施設 48箇所 ・その他老人福祉施設 51箇所 ・訪問看護ステーション 36箇所 ・看護系学部・大学院修士課程を設置する大学 18箇所
調査内容	選択肢式および記述回答式の13問の設問。 (主な質問項目) ・回答事業所の基本情報 ・兵庫大学大学院看護学研究科[博士前期課程](仮称)の修了予定者の採用意向 ・兵庫大学大学院看護学研究科[博士後期課程](仮称)の修了予定者の採用意向
有効回収件数	77件(回収率:26.6%)
調査実施主体	株式会社高等教育総合研究所

2. 採用意向についてのアンケート調査（人材需要アンケート調査）集計表

問1	番号	選択肢	回答数	構成比		
【所在地】貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つに○）	(1)	東播磨地域（加古川市・高砂市・明石市・稲美町・播磨町）	37	48.1%	97.4%	
	(2)	北播磨地域（加西市・加東市・西脇市・三木市・小野市・多可町）	15	19.5%		
	(3)	中播磨地域（姫路市・福崎町・市川町・神河町）	10	13.0%		
	(4)	西播磨地域（たつの市・宍粟市・太子町・相生市・上郡町・赤穂市・佐用町）	7	9.1%		
	(5)	神戸地域（神戸市）	4	5.2%		
	(6)	阪神北地域（芦屋市・西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・三田市・川西市等）	2	2.6%		
	(7)	但馬地域（豊岡市・養父市・朝来市等）	0	0.0%		
	(8)	丹波地域（丹波市・篠山市）	0	0.0%		
	(9)	大阪府	2	2.6%		2.6%
	(10)	京都府	0	0.0%		0.0%
	(11)	その他	0	0.0%		0.0%
		無回答	0	0.0%		0.0%
		計	77	100.0%	100.0%	
問2	番号	選択肢	回答数	構成比		
【業種】貴機関・貴施設の種別をお答えください。（あてはまるもの1つに○）	(1)	病院・診療所	41	53.2%		
	(2)	介護保険関連施設	16	20.8%		
	(3)	訪問看護ステーション	11	14.3%		
	(4)	大学（看護系）	6	7.8%		
	(5)	その他	3	3.9%		
		無回答	0	0.0%		
	計	77	100.0%	100.0%		
問3-1	番号	選択肢	回答数	構成比		
【看護師の充足状況】貴機関・貴施設における看護師の充足状況についてお答えください。（あてはまるもの1つに○）	(1)	大きく不足している	8	10.4%	53.2%	
	(2)	やや不足している	33	42.9%		
	(3)	適度に充足している	31	40.3%		
	(4)	過剰である	0	0.0%	40.3%	
	(5)	勤務なし	2	2.6%		
		無回答	3	3.9%		
	計	77	100.0%	100.0%		
問3-2	番号	選択肢	回答数	構成比		
【看護教員の充足状況】貴機関・貴施設における看護教員の充足状況についてお答えください。（あてはまるもの1つに○）	(1)	大きく不足している	1	1.3%	7.8%	
	(2)	やや不足している	5	6.5%		
	(3)	適度に充足している	0	0.0%	0.0%	
	(4)	過剰である	0	0.0%		
	(5)	勤務なし	71	92.2%	92.2%	
		無回答	0	0.0%		
	計	77	100.0%	100.0%		
問4	番号	選択肢	回答数	構成比		
【博士前期課程】貴機関・貴施設における、大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員の勤務の有無についてお答えください。（あてはまるもの1つに○）	(1)	大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員が勤務している	20	26.0%		
	(2)	大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員は勤務していない	55	71.4%		
	(3)	わからない	2	2.6%		
		無回答	0	0.0%		
		計	77	100.0%		
問5	番号	選択肢	回答数	構成比		
【博士前期課程】兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程（仮称・設置構想中）」が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われますか。（あてはまるもの1つに○）	(1)	とても必要だと思う	7	9.1%	83.1%	
	(2)	必要だと思う	57	74.0%		
	(3)	あまり必要でないと思う	13	16.9%	16.9%	
	(4)	必要でないと思う	0	0.0%		
		無回答	0	0.0%		
	計	77	100.0%	100.0%		
問6-1	番号	選択肢	回答数	構成比		
【博士前期課程】貴機関・貴施設において今後、兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程（仮称・設置構想中）」で学び、養成される人材（修了生）を採用したいと思われませんか。（あてはまるもの1つに○）	(1)	採用したい	8	10.4%	29.9%	
	(2)	採用を検討したい	15	19.5%		
	(3)	どちらとも言えない	47	61.0%	70.1%	
	(4)	採用しない	7	9.1%		
		無回答	0	0.0%		
	計	77	100.0%	100.0%		

問6-2	番号	選択肢	回答数	構成比	採用人数
【博士前期課程】(1)「採用したい」、(2)「採用を検討したい」の場合、よろしければ採用が可能と思われる人数をご記入ください。	(1)	1人	10	43.5%	10人
	(2)	2人	8	34.8%	16人
	(3)	3人	3	13.0%	9人
	(4)	4人	0	0.0%	0人
	(5)	5人	0	0.0%	0人
	(6)	6人	0	0.0%	0人
	(7)	7人	0	0.0%	0人
	(8)	8人	0	0.0%	0人
	(9)	9人	0	0.0%	0人
	(10)	10人	0	0.0%	0人
		無回答		2	8.7%
	計		23	100.0%	35人
問7	番号	選択肢	回答数	構成比	
【博士前期課程】貴機関・貴施設で勤務される看護職者を、兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程(仮称・設置構想中)」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)	(1)	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	4	5.2%	46.8%
	(2)	現職のまま(社会人として)進学・入学させたい(貴機関・貴施設の負担はなし)	9	11.7%	
	(3)	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	23	29.9%	
	(4)	進学・入学を推奨する予定はない	30	39.0%	
	(5)	わからない	11	14.3%	
		無回答	0	0.0%	
	計		77	100.0%	100.0%
問8	番号	選択肢	回答数	構成比	
【博士後期課程】貴機関・貴施設における、大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員が勤務している	(1)	大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員が勤務している	8	10.4%	
	(2)	大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員は勤務していない	64	83.1%	
	(3)	わからない	4	5.2%	
		無回答	1	1.3%	
	計		77	100.0%	
問9	番号	選択肢	回答数	構成比	
【博士後期課程】兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程(仮称・設置構想中)」が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われるか。(あてはまるもの1つに○)	(1)	とても必要だと思う	6	7.8%	75.3%
	(2)	必要だと思う	52	67.5%	
	(3)	あまり必要でないと思う	17	22.1%	
	(4)	必要でないと思う	2	2.6%	
		無回答	0	0.0%	
	計		77	100.0%	100.0%
問10-1	番号	選択肢	回答数	構成比	
【博士後期課程】貴機関・貴施設において今後、兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程(仮称・設置構想中)」で学び、養成される人材(修生)を採用したいと思われるか。(あてはまるもの1つに○)	(1)	採用したい	6	7.8%	
	(2)	採用を検討したい	10	13.0%	
	(3)	どちらとも言えない	52	67.5%	
	(4)	採用しない	9	11.7%	
		無回答	0	0.0%	
	計		77	100.0%	
問10-2	番号	選択肢	回答数	構成比	採用人数
【博士後期課程】(1)「採用したい」、(2)「採用を検討したい」の場合、よろしければ採用が可能と思われる人数をご記入ください。	(1)	1人	8	50.0%	8人
	(2)	2人	3	18.8%	6人
	(3)	3人	3	18.8%	9人
	(4)	4人	0	0.0%	0人
	(5)	5人	0	0.0%	0人
	(6)	6人	0	0.0%	0人
	(7)	7人	0	0.0%	0人
	(8)	8人	0	0.0%	0人
	(9)	9人	0	0.0%	0人
	(10)	10人	0	0.0%	0人
		無回答		2	12.5%
	計		16	100.0%	23人
問11	番号	選択肢	回答数	構成比	
【博士後期課程】貴機関・貴施設で勤務される看護職者を、兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程(仮称・設置構想中)」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。(あてはまるもの1つに○)	(1)	研修制度(就学助成金)・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい	3	3.9%	44.2%
	(2)	現職のまま(社会人として)進学・入学させたい(貴機関・貴施設の負担はなし)	9	11.7%	
	(3)	進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる	22	28.6%	
	(4)	進学・入学を推奨する予定はない	32	41.6%	
	(5)	わからない	11	14.3%	
		無回答	0	0.0%	
	計		77	100.0%	100.0%

問12	番号	選択肢	回答数	構成比
【全体】今後の看護において、必要と思われる人材像を以下の中からお選びください。(あてはまるものすべてに○)	(1)	エンドオブライフを含めた高度な知識と技術を有する人材	48	62.3%
	(2)	多職種・多機関・地域住民と連携し、ソーシャルキャピタルの醸成に貢献できる人材	60	77.9%
	(3)	地域の看護管理、看護教育、看護研究に貢献できる人材	41	53.2%
	(4)	地域における健康課題の問題解決を図ることのできる人材	35	45.5%
	(5)	多角的、複合的かつ独創的に卓越した研究活動を通じ、看護の発展に寄与できる看護研究者	19	24.7%
		無回答	0	0.0%
		計	77	100.0%

3. 採用意向についてのアンケート調査 結果の要点

(回答者の属性)

問2の回答結果によると、回答事業所の業種の種別は、病院・診療所が41事業所(53.2%)、介護保険関連施設が16事業所(20.8%)、訪問看護ステーションが11事業所(14.3%)、大学(看護系)が6校(7.8%)、その他が3事業所(3.9%)となっている。本学の博士前期課程では、臨床機関や地域における指導的な看護職の養成を想定し、博士後期課程では看護研究者や看護教育者の養成を想定しているため、本研究科の調査として適切であると言える。

(看護師および看護教員の充足状況)

問3の回答結果によると、回答した77事業所における看護師の充足状況は、8事業所(10.4%)が「大きく不足している」、33事業所(42.9%)が「やや不足している」との回答となり、合計41事業所(53.2%)が「不足している」との回答となった。

大学における看護系教員の充足状況は、勤務のある6事業所のうち、1校(16.7%)が「大きく不足している」、5校(83.3%)が「やや不足している」との回答となり、看護教員の勤務のある6校全て(100.0%)が「不足している」との回答となった。

【博士前期課程】

兵庫大学大学院看護学研究科 博士前期課程の養成する人材の社会的必要性

問5の回答結果によると、7事業所(回答77事業所の9.1%)が「(兵庫大学大学院看護学研究科博士前期課程が養成する人材は)社会的にとっても必要だと思う」、57事業所(74.0%)が「必要だと思う」との回答となり、合計64事業所(83.1%)が「必要」との回答を得た。

兵庫大学大学院看護学研究科 博士前期課程修了予定者の採用意向

問6の回答結果によると、兵庫大学大学院看護学研究科博士前期課程の修了者の採用意向について、8事業所(回答77事業所の10.4%)から「修了予定者を採用したい」、15事業所(19.5%)から「修了予定者の採用を検討したい」の回答を得た。

上記の回答事業所に対して採用可能人数を質問したところ、「採用したい」と回答した8事業所の採用可能人数の合計が16人、「採用を検討したい」と回答した15事業所の採用可能人数の合計が19人となり、両者を合わせ、23事業所から35人の採用可能人数との結果となり、博士前期課程の入学定員である6人を大きく超える採用意向の回答を得た。

(以下の表1「「採用したい」「採用を検討したい」回答別の採用可能人数[博士前期課程]」を参照)

(表1)「採用したい」、「採用を検討したい」回答別の採用可能人数[博士前期課程]

兵庫大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 修了者の採用可 能人数 (回答選択肢)	「(博士前期課程の修 了生を)採用したい」 と回答した事業所の採 用可能人数		「(博士前期課程の修 了生を)採用を検討し たい」と回答した事業 所の採用可能人数		(博士前期課程の修了者の) 採用可能人数 合計(+)		
	回答事業 所数	採用可能 人数	回答事業 所数	採用可能 人数	回答事業 所数	採用可能 人数	回答構成 比
1人	2	2人	8	8人	10	10人	43.5%
2人	4	8人	4	8人	8	16人	34.8%
3人	2	6人	1	3人	3	9人	13.0%
4人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
5人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
6人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
7人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
8人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
9人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
10人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
無回答	0	0人	2	0人	2	0人	8.7%
合計	8	16人	15	19人	23	35人	100.0%

事業所の業種別の博士前期課程の採用意向

採用意向の回答(問6)について、業種別(問2)のクロス集計で算定したところ、以下の結果となった。博士前期課程の修了予定者については、病院・診療所、看護系大学から多くの採用意向を得ていることが示されている。

(表2)問2(業種)と問6(博士前期課程の採用意向)のクロス集計

問2の回答 (回答事業所の業種種別)	問6の回答「兵庫大学大学院看護 学研究科博士前期課程の修了予 定者を採用したい」	問6の回答「兵庫大学大学院看護 学研究科博士前期課程の修了予 定者を採用したい」
病院・診療所 41事業所	6事業所 (75.0%)	8事業所 (53.3%)
介護保険関連施設 16事業所	0事業所 (0.0%)	2事業所 (13.3%)
訪問看護ステーション 11事業所	0事業所 (0.0%)	2事業所 (13.3%)
大学(看護系) 6事業所	2事業所 (25.0%)	3事業所 (20.0%)
その他 3事業所	0事業所 (0.0%)	0事業所 (0.0%)
合計 77事業所	8事業所 (100.0%)	15事業所 (100.0%)

【博士後期課程】

兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程の養成する人材の社会的必要性

問9の回答結果によると、6事業所(回答77事業所の7.8%)が「(兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程が養成する人材は)社会的にとっても必要だと思う」、52事業所(67.5%)が「必要だと思う」との回答となり、合計58事業所(75.3%)が「必要」との回答を得た。

兵庫大学大学院看護学研究科 博士後期課程修了予定者の採用意向

問10の回答結果によると、兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程の修了者の採用意向について、6事業所(回答77事業所の7.8%)から「修了予定者を採用したい」、10事業所(13.0%)から「修了予定者の採用を検討したい」の回答を得た。

上記の回答事業所に対して採用可能人数を質問したところ、「採用したい」と回答した6事業所の採用可能人数の合計が11人、「採用を検討したい」と回答した10事業所の採用可能人数の合計が12人となり、両者を合わせ、16事業所から23人の採用可能人数との結果となり、博士後期課程の入学定員である4人を超える採用意向の回答を得た。

(以下の表3「採用したい」、「採用を検討したい」回答別の採用可能人数[博士後期課程]を参照)

(表3)「採用したい」、「採用を検討したい」回答別の採用可能人数[博士後期課程]

兵庫大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 修了者の採用可 能人数 (回答選択肢)	「(博士後期課程の修 了生を)採用したい」 と回答した事業所の採 用可能人数		「(博士後期課程の修 了生を)採用を検討し たい」と回答した事業 所の採用可能人数		(博士後期課程の修了者の) 採用可能人数 合計(+)		
	回答事業 所数	採用可能 人数	回答事業 所数	採用可能 人数	回答事業 所数	採用可能 人数	回答構成 比
1人	2	2人	6	6人	8	8人	50.0%
2人	0	0人	3	6人	3	6人	18.8%
3人	3	9人	0	0人	3	9人	18.8%
4人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
5人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
6人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
7人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
8人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
9人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
10人	0	0人	0	0人	0	0人	0.0%
無回答	1	0人	1	0人	2	0人	12.5%
合計	6	11人	10	12人	16	23人	100.0%

事業所の業種別の博士後期課程の採用意向

採用意向の回答(問10)について、業種別(問2)のクロス集計で算定したところ、以下の結果となった。博士後期課程の修了予定者についても、博士前期課程と同様に、病院・診療所、看護系大学から多くの採用意向を得ていることが示されている。

(表4) 問2(業種)と問10(博士後期課程の採用意向)のクロス集計

問2の回答 (回答事業所の業種種別)	問10の回答「兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程の修了予定者を採用したい」	問10の回答「兵庫大学大学院看護学研究科博士後期課程の修了予定者を採用したい」
病院・診療所 41 事業所	3 事業所 (50.0%)	6 事業所 (60.0%)
介護保険関連施設 16 事業所	0 事業所 (0.0%)	1 事業所 (10.0%)
訪問看護ステーション 11 事業所	1 事業所 (16.7%)	0 事業所 (0.0%)
大学(看護系) 6 事業所	2 事業所 (33.3%)	3 事業所 (30.0%)
その他 3 事業所	0 事業所 (0.0%)	0 事業所 (0.0%)
合計 77 事業所	6 事業所 (100.0%)	10 事業所 (100.0%)

兵庫大 学院 大 学

看護学研究科 博士前期課程 (仮称) 博士後期課程

2020年4月開設に向け、設置構想中

採用意向についてのアンケート調査

(対象：看護職者および看護系教員採用ご担当者様)

兵庫大学（兵庫県加古川市平岡町新在家2301）は2020年4月に向けて大学院「看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程（いずれも仮称）」の設置を構想しています。本学はこのアンケート調査を通して、保健・医療機関、福祉施設および大学の看護学部（学科）の皆様、将来的な修了生の採用、さらに大学院への現職看護職者・看護系教員の進学ご推奨の可能性について、率直なご意見をお聞かせいただきたいと考えております。

なお、皆様から寄せられた情報は本大学院研究科の設置構想に係る統計資料としてのみ活用するものであり、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ありません。アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

問1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるもの1つに をしてください）

- 【兵庫県】
1. 東播磨地域（加古川市・高砂市・明石市・稲美町・播磨町）
 2. 北播磨地域（加西市・加東市・西脇市・三木市・小野市・多可町）
 3. 中播磨地域（姫路市・福崎町・市川町・神河町）
 4. 西播磨地域（たつの市・宍粟市・太子町・相生市・上郡町・赤穂市・佐用町）
 5. 神戸地域（神戸市）
 6. 阪神北地域（芦屋市・西宮市・尼崎市・伊丹市・宝塚市・三田市・川西市等）
 7. 但馬地域（豊岡市・養父市・朝来市等）
 8. 丹波地域（丹波市・篠山市）
- 【兵庫県外】
9. 大阪府
 10. 京都府
 11. その他

問2 貴機関・貴施設の種別をお答えください。（あてはまるもの1つに をしてください）

1. 病院・診療所
2. 介護保険関連施設
3. 訪問看護ステーション
4. 大学（看護系）
5. その他（ ）

問3 貴機関・貴施設における看護師、看護教員の充足状況についてお答えください。 (貴機関・貴施設で必要な人材について、それぞれあてはまるもの1つに をしてください)

【看護師】

1. 大きく不足している
2. やや不足している
3. 適度に充足している
4. 過剰である
5. 勤務なし

【看護系教員】

1. 大きく不足している
2. やや不足している
3. 適度に充足している
4. 過剰である
5. 勤務なし

問5以降に答える前に「兵庫大学大学院 看護学研究科 博士前期課程 (仮称・設置構想中) の概要」をお読みください。

兵 庫 大 学 院

看護学研究科 博士前期課程 (仮称)

2020年4月開設に向け設置構想中

概 要

開 設 時 期 : 2020年4月(予定)
 開 設 場 所 : 兵庫大学 (兵庫県加古川市平岡町新在家2301)
 修 業 年 限 : 2年
 入 学 定 員 : 6名(予定)
 取 得 学 位 : 修士(看護学)

養 成 する 人材

【看護学研究科の目的】

超高齢社会とともに訪れる多死社会において、より一層複雑化、多様化する住民ニーズに対して、住民のQOL並びにQODD(Quality of Dying and Death)の向上を目指し、そのために保健医療・福祉や関連する学際的分野の学問から創生した「看護の知」を活用し看護実践ができる高度看護専門職者、また深い専門的な知識と卓越した実践能力を有し、かつ看護活動を科学的かつ客観的に捉える研究的視点を持ち、「看護の知」を自ら探究し開拓することができる、高度看護専門職者、看護教育者及び看護研究者を育成します。

【博士前期課程の養成人材像】

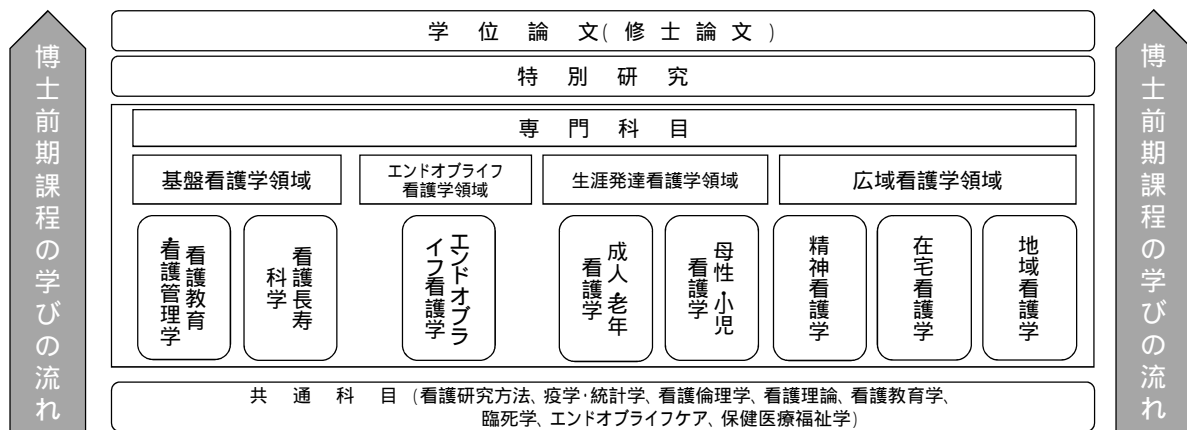
超高齢化が進展する播磨地区及び兵庫県西部地域の現状から、高齢者をはじめとする地域住民が可能な限り住み慣れた地域で、自分が望む自分らしい生活を最後まで送ることができることを目指すエンドオブライフケアを含めた、看護の高度な知識と技術に裏打ちされたケアを提供することで、地域の人々の生活の質の向上に貢献し、看護のリーダーとなることのできる人材

看護専門職者として、地域の多職種・多機関と連携し協働することで、地域住民の生活を支えるケア体制や保健医療システムの向上に貢献できる人材

看護実践における研究を通じて、地域の看護管理、看護教育、看護研究に貢献できる人材

教 育 研 究 の 特 色

看護実践やフィールドワークを継続しながら、文献検討や調査等を行い、共通科目及び選択した分野の専門教育科目での学びを統合し、個々の問題意識に基づいた研究課題と研究方法を明確にし、研究計画を立案、実施し、修士論文を完成させる。



修了後の進路

兵庫大学大学院看護学研究科 博士前期課程 (仮称) の修了生は、以下での活躍が期待されます。

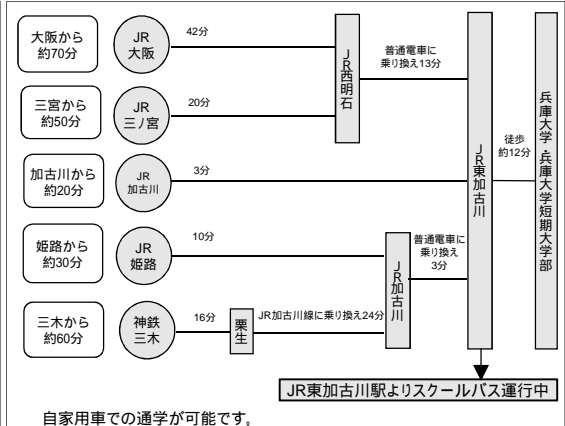
- 医療施設の看護専門職 (例: 病院、福祉施設、訪問看護ステーション等)
- 看護系大学教員
- その他: 研究員、行政職、博士後期課程への進学など

博士前期課程の学費(他大学を含む)

大学院名 研究科名 (所在地)	入学金	授業料等	初年次納付金 (合計)
兵庫大学大学院看護学研究科 (仮称) (兵庫県加古川市平岡町新在家2301)	200,000	550,000	750,000
関西福祉大学大学院看護学研究科 (兵庫県赤穂市新田380-3)	240,000	900,000	1,140,000
大阪医科大学大学院看護学研究科 (大阪府高槻市大学町2番7号)	200,000	580,000	780,000

兵庫大学大学院 看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(平成30年5月時点)。いずれも諸会費を含みません。また、実習等に伴う費用・経費が別途必要な場合があります。

アクセシ



上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

問4 貴機関・貴施設における、大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員の勤務の有無についてお答えください。
(あてはまるもの1つに をしてください)

- 1 . 大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員が勤務している
- 2 . 大学院修士課程修了の看護職者・看護系教員は勤務していない
- 3 . わからない

【博士前期課程について】

問5・問6・問7にお答えいただく前に、
2ページの「兵庫大学大学院 看護学研究科 博士前期課程（仮称・設置構想中）の概要」をご覧ください。

問5 兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程（仮称・設置構想中）」が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われますか。（あてはまるもの1つに をしてください。）

- 1 . とても必要だと思う
- 2 . 必要だと思う
- 3 . あまり必要でないと思う
- 4 . 必要でないと思う

問6 貴機関・貴施設において今後、兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程（仮称・設置構想中）」で学び、養成される人材（修了生）を採用したいと思われませんか。
(あてはまるもの1つに をし、1・2の場合よろしければ該当する人数をご記入ください)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 . 採用したい 2 . 採用を検討したい 3 . どちらとも言えない 4 . 採用しない | } | → | 1・2の場合、よろしければ採用が可能と思われる人数をご記入ください。 |
| | | | <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; display: inline-block;"></div> 名 |

問7 貴機関・貴施設で勤務される看護職者を、兵庫大学大学院「看護学研究科博士前期課程（仮称・設置構想中）」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。
(あてはまるもの1つに をしてください)

- 1 . 研修制度（就学助成金）・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい
- 2 . 現職のまま（社会人として）進学・入学させたい（貴機関・貴施設の負担はなし）
- 3 . 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる
- 4 . 進学・入学を推奨する予定はない
- 5 . わからない

引き続き、5ページの問8以降にお答えください。

問9以降に答える前に「兵庫大学大学院 看護学研究科 博士後期課程 (仮称・設置構想中) の概要」をお読みください。

兵庫 大 学 院

看護学研究科 博士後期課程 (仮称)

2020年4月開設に向け設置構想中

概 要

開 設 時 期 : 2020年4月(予定)
 開 設 場 所 : 兵庫大学 (兵庫県加古川市平岡町新在家2301)
 修 業 年 限 : 3年
 入 学 定 員 : 4名(予定)
 取 得 学 位 : 博士(看護学)

養 成 する 人 材

博士後期課程では、地域における健康課題を解決するための実践知を検証し、独立して研究できる研究者および教育者を育成することを目的とし、次のような人材を養成します。

【博士後期課程の養成人材像】

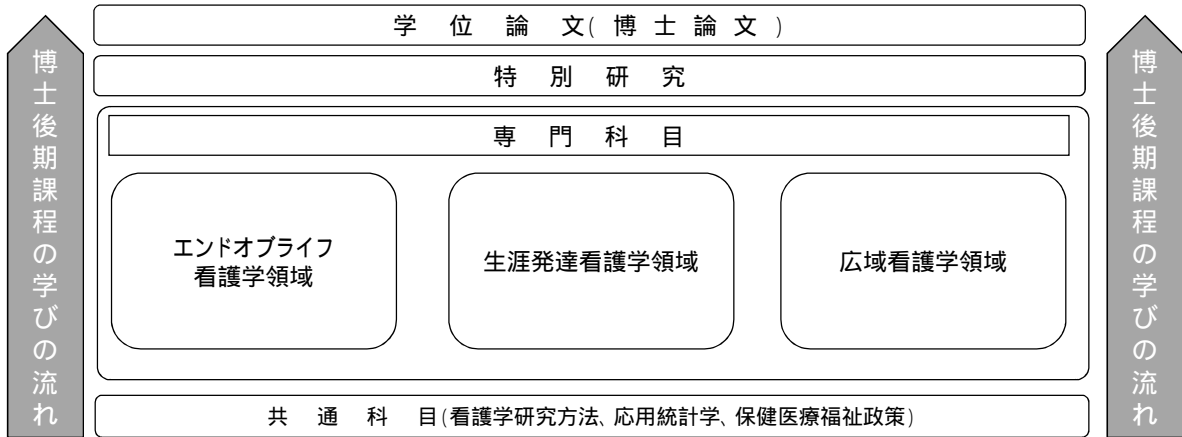
看護の専門職として、高い倫理感と責任感を基盤とし、卓越した専門的知識や技能、包括的な分析能力や研究能力をもって、看護の課題や健康問題の解決を図ることのできる人材

国内外の多分野の専門家や研究者と協働することを通じて、地域の人々の健康課題の解決に寄与し、保健医療に係る社会システムの構築と発展に貢献できる人材

看護の新たな研究領域を開拓するとともに、グローバルかつ多角的、複合的な立脚点から、独創的で卓越した看護研究活動を通じて看護学の発展に寄与できる人材

教 育 研 究 の 特 色

修士課程または博士前期課程の研究を継続的に発展させ、文献検討や調査等を行い、共通教育科目及び選択した分野の専門教育科目での学びを統合し、その研究課題と研究方法を明確にし、研究計画を自立的に立案、推進し、博士論文を完成させる。



修了後の進路

兵庫大学大学院看護学研究科 博士後期課程 (仮称) の修了生は、以下での活躍が期待されます。

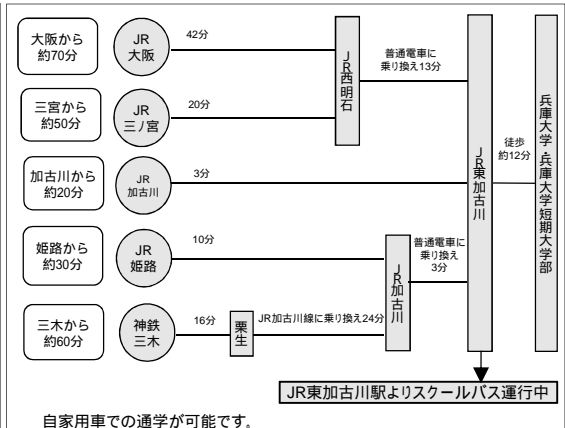
- 看護研究者
- 医療機関における看護管理者
- 看護系大学教員

博士前期課程の学費(他大学を含む)

大学院名 研究科名 (所在地)	入学金	授業料等	(円) 初年次納付金(合計)
兵庫大学大学院看護学研究科(仮称) (兵庫県加古川市平岡町新在家2301)	200,000	550,000	750,000
関西福祉大学大学院看護学研究科 (兵庫県赤穂市新田380-3)	240,000	900,000	1,140,000
大阪医科大学大学院看護学研究科 (大阪府高槻市大学町2番7号)	200,000	580,000	780,000

兵庫大学大学院 看護学研究科(仮称)の学費は予定のものです。他大学の学費は各大学ホームページ掲載情報です(平成30年5月時点)。いずれも諸会費を含みません。また、実習等に伴う費用・経費が別途必要な場合があります。

アクセシ



上記の内容は構想中であり、今後、名称や内容などが変更となる場合があります。

問8 貴機関・貴施設における、大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員の勤務の有無についてお答えください。
(あてはまるもの1つに をしてください)

- 1 . 大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員が勤務している
- 2 . 大学院博士課程修了の看護職者・看護系教員は勤務していない
- 3 . わからない

【博士後期課程について】

問9・問10・問11にお答えいただく前に、

4ページの「兵庫大学大学院 看護学研究科 博士後期課程（仮称・設置構想中）の概要」をご覧ください。

問9 兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）」が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思われますか。（あてはまるもの1つに をしてください）

- 1 . とても必要だと思う
- 2 . 必要だと思う
- 3 . あまり必要でないと思う
- 4 . 必要でないと思う

問10 貴機関・貴施設において今後、兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）」で学び、養成される人材（修了生）を採用したいと思われませんか。
(あてはまるもの1つに をし、1・2の場合よろしければ該当する人数をご記入ください)

- 1 . 採用したい
 - 2 . 採用を検討したい
 - 3 . どちらとも言えない
 - 4 . 採用しない
- 1・2の場合、よろしければ採用が可能と思われる人数をご記入ください。
 名

問11 貴機関・貴施設で勤務される看護職者を、兵庫大学大学院「看護学研究科博士後期課程（仮称・設置構想中）」で学ばせるために、進学・入学させるご意向についてお答えください。
(あてはまるもの1つに をしてください)

- 1 . 研修制度（就学助成金）・休職制度などを利用させ、進学・入学させたい
- 2 . 現職のまま（社会人として）進学・入学させたい（貴機関・貴施設の負担はなし）
- 3 . 進学・入学を推奨するが、本人の意思に任せる
- 4 . 進学・入学を推奨する予定はない
- 5 . わからない

最後に、次ページの問12、問13にお答えください。

最後に、問12、問13にお答えください。

問12

今後の看護において、必要と思われる人材像を以下の中からお選びください。
(あてはまるものすべてに)

- 1 . エンドオブライフを含めた高度な知識と技術を有する人材
- 2 . 多職種・多機関・地域住民と連携し、ソーシャルキャピタルの醸成に貢献できる人材
- 3 . 地域の看護管理、看護教育、看護研究に貢献できる人材
- 4 . 地域における健康課題の問題解決を図ることのできる人材
- 5 . 多角的、複合的かつ独創的に卓越した研究活動を通じ、看護の発展に寄与できる看護研究者

問13

兵庫大学大学院「看護学研究科 博士前期課程・博士後期課程（仮称・設置構想中）」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

(資料7) 近畿地区の看護系大学院の学納金

(平成30年度現在)

所在	種別	大学院名	研究科名・専攻名	博士前期課程			博士後期課程		
				入学金	授業料等	初年度納入金	入学金	授業料等	初年度納入金
兵庫県	国立	神戸大学大学院	保健学研究科保健学専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
	公立	兵庫県立大学大学院	看護学研究科看護学専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
			看護学研究科共同災害看護学専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
		神戸市看護大学大学院	看護学研究科看護学専攻	297,000	535,800	832,800	297,000	535,800	832,800
	私立	甲南女子大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	500,000	700,000	200,000	500,000	700,000
		関西福祉大学大学院	看護学研究科看護学専攻	240,000	900,000	1,140,000	240,000	900,000	1,140,000
		武庫川女子大学大学院	看護学研究科看護学専攻	280,000	1,000,000	1,280,000	280,000	900,000	1,180,000
		兵庫医療大学大学院	看護学研究科看護学専攻	100,000	600,000	700,000			
		関西国際大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	800,000	1,000,000			
関西看護医療大学大学院		看護学研究科看護学専攻	300,000	800,000	1,100,000				
姫路大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	700,000	900,000					
大阪府	国立	大阪大学大学院	医学系研究科保健学専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
	公立	大阪府立大学大学院	看護学研究科看護学専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
		大阪市立大学大学院	看護学研究科看護学専攻	222,000	535,800	757,800	222,000	535,800	757,800
		大阪医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	580,000	780,000	200,000	580,000	780,000
	私立	関西医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	600,000	800,000	200,000	600,000	800,000
		森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科保健医療学専攻	300,000	800,000	1,100,000	300,000	700,000	1,000,000
		関西医療大学大学院	保健医医療研究科保健医療学専攻	300,000	600,000	900,000			
		藍野大学大学院	看護学研究科看護学専攻	100,000	750,000	850,000			
摂南大学大学院	看護学研究科看護学専攻	150,000	870,000	1,020,000					
京都府	国立	京都大学大学院	医学研究科人間健康科学系専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
	公立	京都府立医科大学大学院	保健看護研究科保健看護専攻	282,000	535,800	817,800	282,000	535,800	817,800
	私立	京都橘大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	630,000	830,000	200,000	630,000	830,000
		京都光華女子大学大学院	看護学研究科看護学専攻	180,000	900,000	1,080,000			
		同志社女子大学大学院	看護学研究科看護学専攻	180,000	950,000	1,130,000			
		京都看護大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	500,000	700,000			
奈良県	公立	奈良県立医科大学大学院	看護学研究科看護学専攻	282,000	535,800	817,800			
	私立	畿央大学大学院	健康科学研究科健康科学専攻	190,000	750,000	940,000			
	私立	奈良学園大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	750,000	950,000			
和歌山県	公立	和歌山県立医科大学大学院	保健看護学研究科保健看護学専攻	282,000	535,000	817,000	282,000	535,000	817,000
滋賀県	国立	滋賀医科大学大学院	医学系研究科看護学専攻	282,000	535,000	817,000			
	公立	滋賀県立大学大学院	人間看護学研究科人間看護学専攻	282,000	535,000	817,000			
	私立	聖泉大学大学院	看護学研究科看護学専攻	200,000	1,400,000	1,600,000			

【出典】各大学のHP等の最新の学納金情報による。
公立大学については、設置自治体の住民及びその子弟に適用される入学金を記載している。

『看護系大学の教育等に関する実態調査』
2016年度状況調査

6. 看護系大学・大学院の卒業生・修了生の病院・診療所への就職割合

表6. 卒業生、修了生の就職・進学状況

就職・進学先別		学部卒業生	修士修了生		博士後期課程 修了生
			修士課程	うち専門 看護師課程	
就職者 内訳	病院・診療所	15,593 (87.1%)	770 (60.2%)	174 (79.5%)	24 (13.2%)
	介護・福祉施設関係	21 (0.1%)	18 (1.4%)	5 (2.3%)	2 (1.1%)
	訪問看護ステーション	13 (0.1%)	29 (2.3%)	12 (5.5%)	0 (0.0%)
	保健所・市町村・検診センター	684 (3.8%)	55 (4.3%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
	企業	69 (0.4%)	12 (0.9%)	1 (0.5%)	2 (1.1%)
	学校(教諭として)	172 (1.0%)	52 (4.1%)	2 (0.9%)	29 (15.9%)
	大学・短大・研究機関等	55 (0.3%)	151 (11.8%)	10 (4.6%)	103 (56.6%)
	専修・各種学校	5 (0.0%)	24 (1.9%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)
	その他(行政職を含む)	112 (0.6%)	28 (2.2%)	2 (0.9%)	1 (0.5%)
進学者 内訳	国内の大学院				
	看護系	344 (1.9%)	64 (5.0%)	4 (1.8%)	1 (0.5%)
	看護系以外	18 (0.1%)	2 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)
	助産師課程(専攻科、別科、専修学校、等)	373 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	国内の他学部	30 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
海外留学	9 (0.1%)	1 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	
その他	83 (0.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.5%)	
その他		317 (1.8%)	73 (5.7%)	7 (3.2%)	16 (8.8%)
合計		17,898 (100.0%)	1,279 (100.0%)	219 (100.0%)	182 (100.0%)

看護系学部・学科における学生17,898名の卒業時点での進路は、就職が93.4%、進学が4.9%、いずれにも該当しない者が1.8%で、昨年度の6.1%に比較して低値であった。就職先は、病院が15,593名(87.1%)と大半を占め、次いで保健所・市町村・検診センターが684名(3.8%)であった。進路先では、助産師課程が373名(2.1%)と最も多く、次いで看護系大学院が344名(1.9%)と例年通りであった。

修士課程・博士前期課程の修了生1,279名では、全体の60.2%(770名)が病院に、11.8%(151名)が大学・短大・研究機関等に就職していた。修了生における専門看護師課程の割合でみると、病院への就職が174名(79.5%)、訪問看護ステーションが12名(5.5%)、学校と大学・短大・研究機関等が10名(4.6%)であった。昨年度と比較すると大きな変化は見られなかった。

博士後期課程の修了生182名では、大学・短大・研究機関等が103名(56.6%)であり、次いで、学校が29名(15.9%)、病院への就職が24名(13.2%)と、大学・短大・研究機関等に就職する者の割合が高かった。博士後期課程においても、例年と大きな変化は見られなかった。